

# 国立国語研究所学術情報リポジトリ

## 敬語行動についての意識

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-06-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 杉戸, 清樹 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.15084/00002919">https://doi.org/10.15084/00002919</a>

# 敬語行動についての意識

言語行動研究部第一研究室

杉戸 清樹

## I. はじめに

### 1. 「敬語行動」とは

対人的な行動の中で、自分自身や周囲の人的要素（相手・話題の人物・聴衆など）、また場面的要素（場所・状況・時間など）や話題などへの気配りを、敬語・待遇表現形式を中心としたさまざまな言語表現に託して表現する言語行動。

### 2. 敬語行動についての「意識」とは

自らの、あるいは周囲の敬語行動についてのさまざまな思い。たとえば、

- (1) 現状認識    いま（従来）どういう敬語行動をしていると思っているか？
- (2) 評価・感覚    現状をどう評価し、どう感じているか？ 好悪・美醜など。
- (3) 志向    どういう敬語行動をしたいか？ 自ら望ましい敬語行動は？
- (4) 信念    敬語行動は本来どのようなものであるべきだと自ら信じるか？
- (5) 規範    所属する集団ではどのようにすべきだとされていると思うか？

### 3. 敬語行動についての意識への関心とその意味合い

- (1) 敬語行動、ひろくはコミュニケーションということがらについてどのような思いを持っているか、そのこと自体への関心
  - ① 敬語や待遇表現形式についての思い
  - ② 敬語行動をとりまく周囲の人間関係や生活場面についての思い
- (2) 意識が、実際に行われる敬語行動を支えたり左右したりする要件となりうるという仮説に基づいた、敬語行動の仕組みを考える手がかりとしての関心
- (3) 意識のあり方が、敬語行動の多様性や変化・将来像の基盤・要件となりうるという仮説に基づいた、敬語行動の変容を考える手がかりとしての関心

## II. 調査結果から

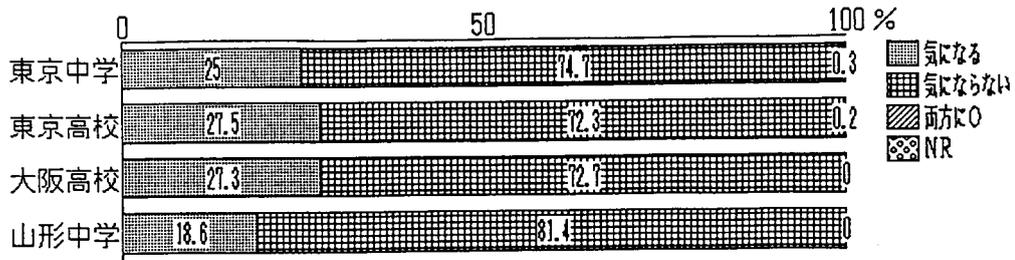
【発表1】 §.6 ①アンケート調査の項目の中から、敬語行動についての意識を扱った項目を選び、その結果の基本的な集計を概観する。

### 1. 言葉遣い全般についての概括的な意識

まずはじめに、毎日の学校でのことばづかいで感じていることを答えてください。「どちらかといえば」という程度でもかまいません。

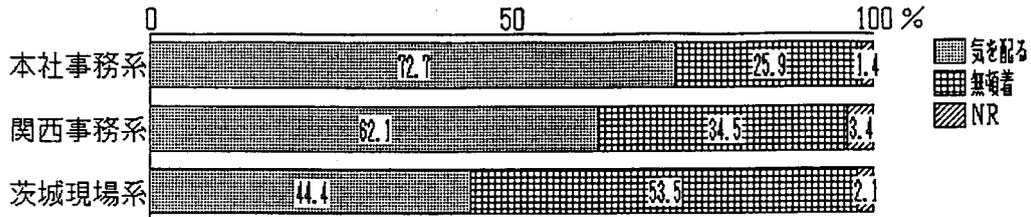
【項目A】 ふだん、学校で、自分自身のことばづかいが気になるほうですか？

- 1. 気になるほうだ      2. あまり気にならないほうだ



《図1》ふだん学校で言葉遣いが気になるか？

(回答人数等は〈発表1〉を参照。以下同じ。)



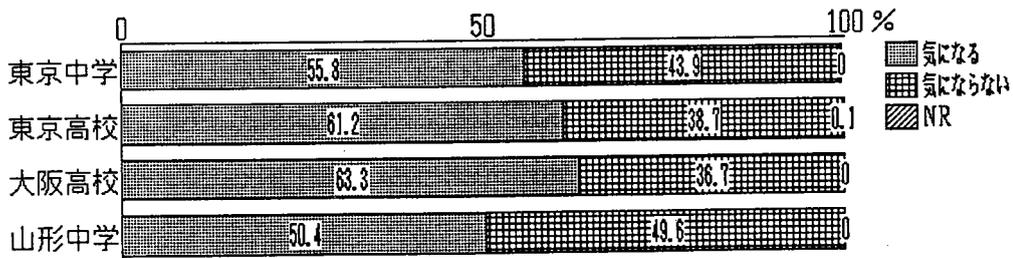
《図2》参考：企業社会の大人たちはどれくらい気を配って働いているか？

(国語研報告1982『企業の中の敬語』から)

## 2. 周囲の人間関係にまつわる、言葉遣いへの気配り

[項目B] 学校生活のなかでも、とくに先生や上級生と話すとき、自分自身のことばづかいが気になるほうですか？

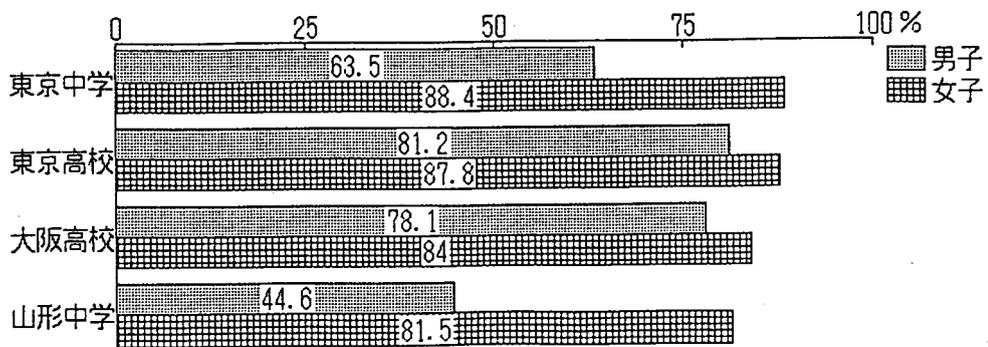
1. 気になるほうだ      2. あまり気にならないほうだ



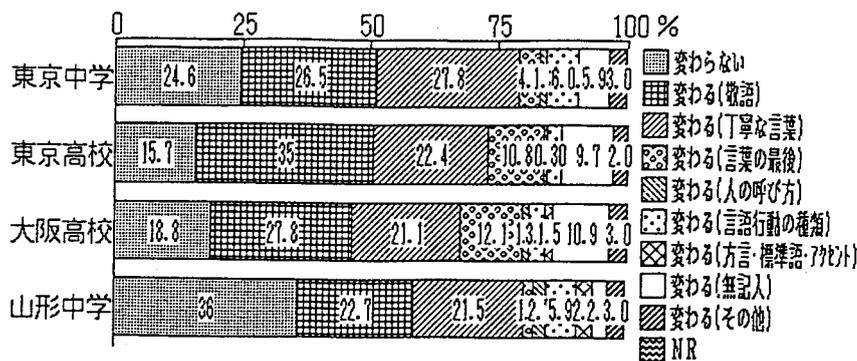
《図3》対先生・上級生で言葉遣いが気になるか？

[項目C] 先生や上級生と話すと、親しい同級生と話すと、自分自身のことばづかいで変わるところがありますか？

1. あまり変わらない      2. 変わると思う→具体的には？



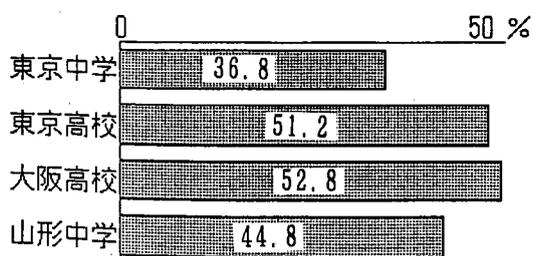
《図4》対先生・上級生で言葉遣いが「変わると思う」 (性別)



《図5》 対先生・上級生で言葉遣いのどんなところが変わるか？

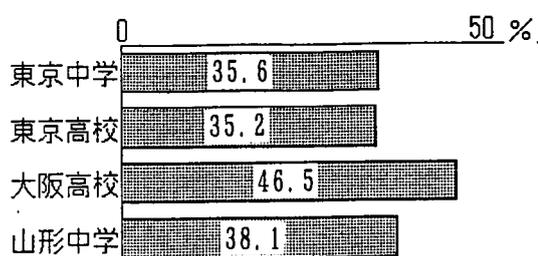
- ①敬語：「先生や上級生には敬語を使う」という内容  
「敬語・敬体・尊敬・謙譲・へりくだり」などの表現での回答。  
「友達には敬語は使わない」という裏側からの回答も含む。  
「丁寧・あらたまり」などの表現での回答は②へ。
- ②丁寧：「先生や上級生には丁寧な言葉を使う」という内容  
「丁寧・あらたまり・きちんとした・乱暴でない・上品」などの回答。  
「オ～・デス・マス」などの語形だけの回答も含む。  
「友達には乱暴になる」という裏側からの回答も含む。
- ③言葉の最後：「文末・語末・言葉の最後・終わりの言い方」などの回答。  
「文末のデス・マス」などの回答も含む。
- ④人の呼び方：「一人称・二人称・三人称」「先生・先輩」「キミ・ボク・～サン」  
など、人称や敬称そのものを含む回答。
- ⑤言語行動の種類：「あいさつ・質問・依頼・謝罪・お礼・あいづち・返事・うけ  
こたえ・話の内容や話題」などを含む回答。
- ⑥方言・標準語・アクセント：「先生には標準語で」「先輩には方言は使わない」  
「ンダノーがソーデスになる」など。

[項目D] これまでに先生や上級生  
へのことばづかいで困った経験は  
ありますか？



《図6》 困った経験が「ある」(性別)

[項目E] 先生や上級生・先輩から、  
ことばづかいで注意されたり、教え  
られたりしたことがありますか？

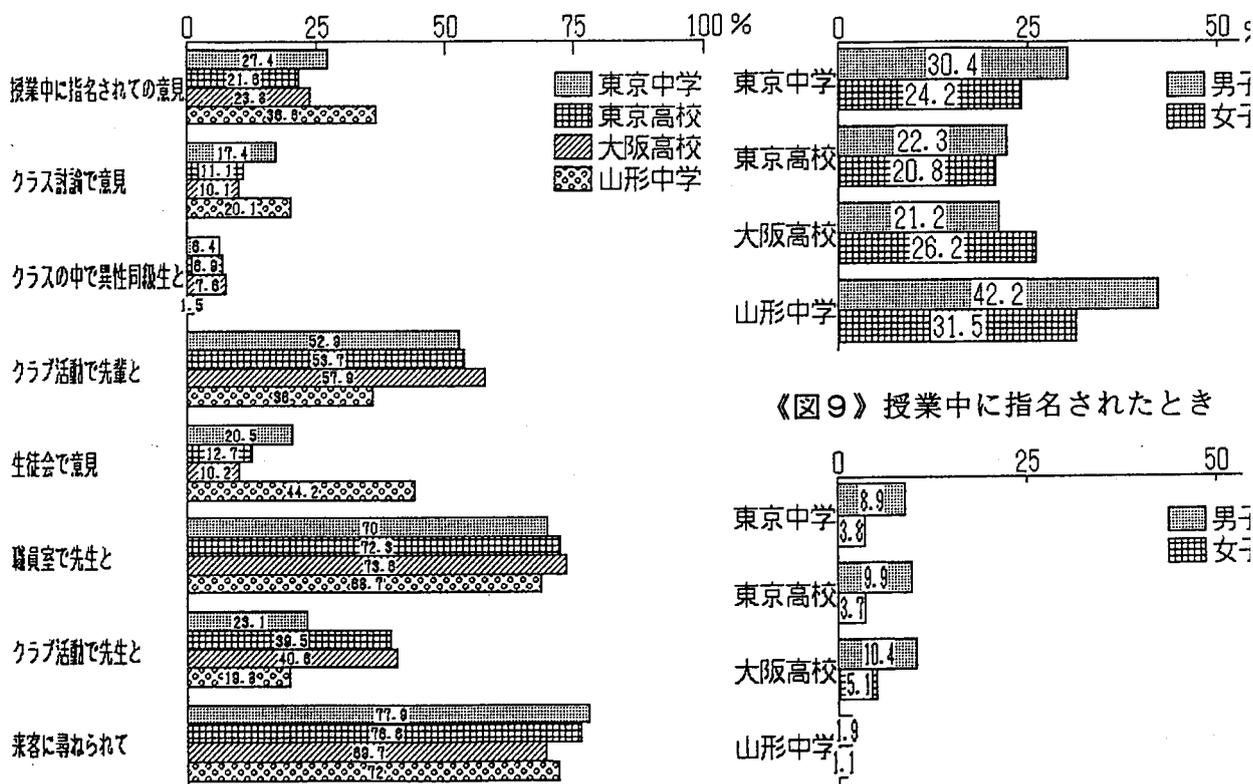


《図7》 注意・指導された経験が「ある」

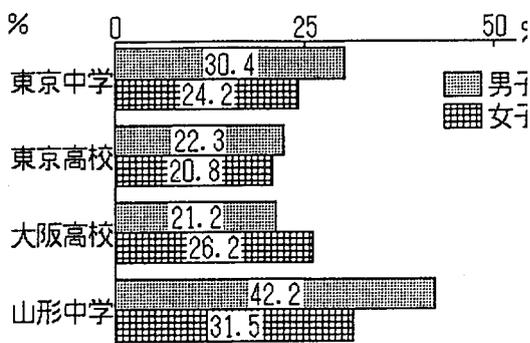
### 3. 学校生活の中の言語場面につわる、言葉遣いへの気配り

[項目F] 学校生活にはいろいろな場面があります。次のうちで、あなたがことばづかいに気をを使うのはどんなときですか？ とくに気をを使うもの三つに○をつけてください。

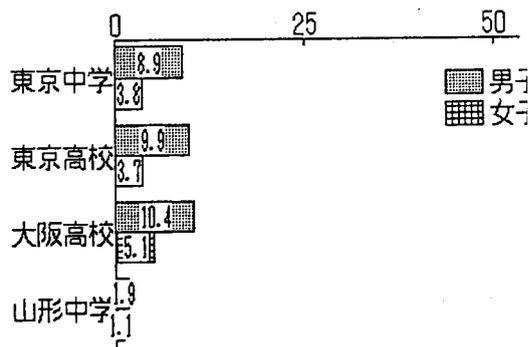
1. 授業中に先生に指名されて答えたり意見を言ったりするとき
2. クラス討論で立ち上がって意見を発表するとき
3. クラスの中で、異性の同級生と話するとき
4. 部（クラブ）活動で、上級生や先輩（せんぱい）に話するとき
5. 生徒会の活動や集会で、討論したり意見を発表するとき
6. 職員室に用事で入って行って、先生と話するとき
7. 部（クラブ）活動で、顧問（こもん）の先生やコーチと話するとき
8. 学校に来た見知らぬ来客に、部屋などをたずねられて教えるとき



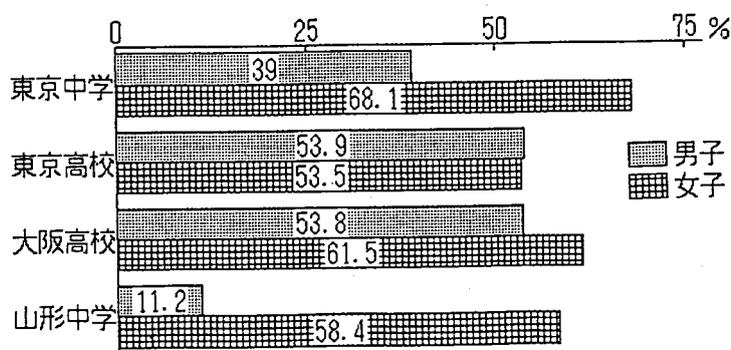
《図8》言葉遣いに気をを使う場面（全体）



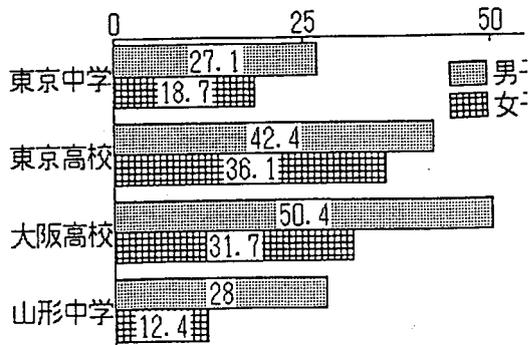
《図9》授業中に指名されたとき



《図10》クラスの異性と話すとき



《図11》クラブ活動で先輩と話するとき

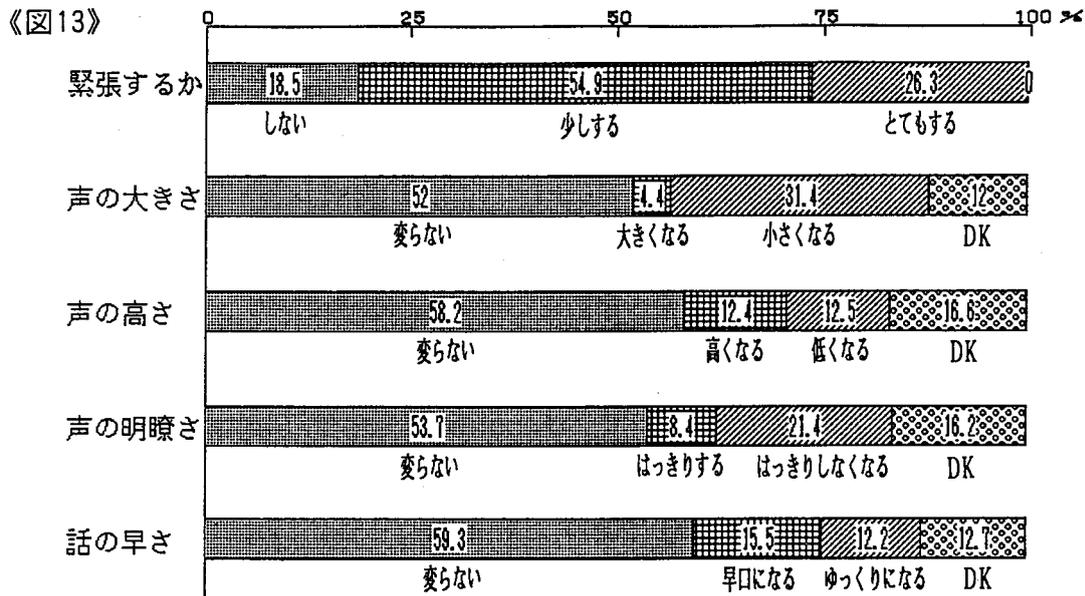


《図12》クラブ活動で先生と話するとき

4. 場面を意識した言葉遣い（敬語形式とは異なる，音声的な側面での言葉遣い）

[項目G] 話すときの声の調子について質問します。参観日の授業で，先生に指名されて答えるときは，ふだん友達と話すときと比べて声の調子はどうなりますか？

- (1) そういうときは緊張するほうですか？ [しない／少し／とても]
- (2) 声の大きさは？ [変わらない／大きくなる／小さくなる]
- (3) 声の高さは？ [変わらない／高く(高音に)なる／低く(低音に)なる]
- (4) 声の明瞭さは？ [変わらない／はっきりする／はっきりしなくなる]
- (5) 話の早さは？ [変わらない／早口になる／ゆっくりになる]

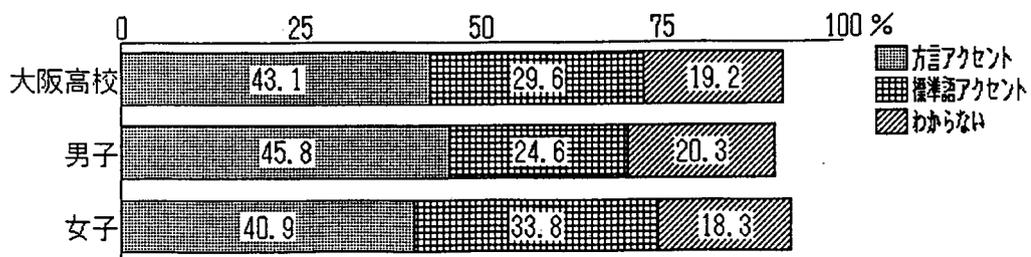


(数値は全調査対象の合計)

[項目H] 授業で指名されて答えるとき，あるいは生徒会やクラスの討論で発言するとき，あなた自身のことばのアクセントはふだんと比べてどうですか？ あてはまるものに○を付けてください。 [大阪だけ]

1. ふだんの大阪の（関西の）アクセントのままだと思う
2. 標準語のアクセントにも変ることもある
3. アクセントのことはわからない

《図14》



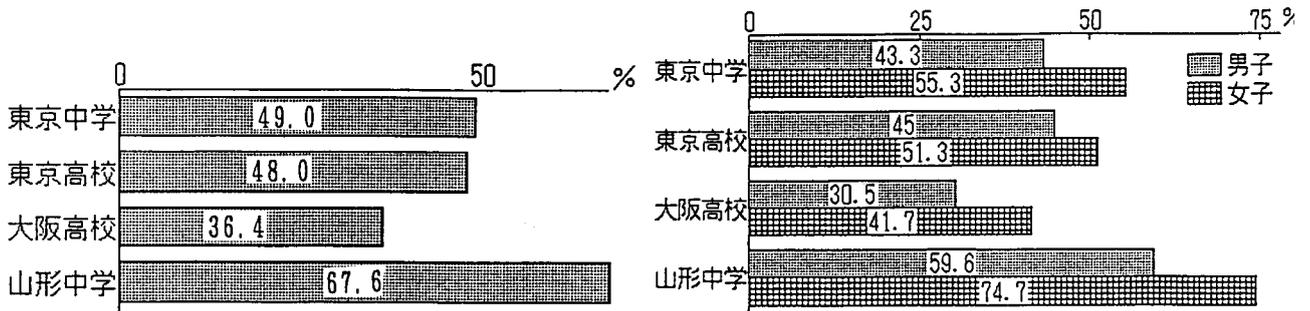
(複数回答・NRは省略)

5. 言葉遣い・敬語についての意見

ことばづかいや敬語についてのあなたの意見を聞きます。正しいとかそうあるべきだとかいうのではなく、自分の考えを教えてください。

[項目I] いまのあなたのクラスを考えて、クラス討論や授業での発言のときは、ふだんのことばづかいは少しちがった、あらたまったことばを使うのがよいと思いますか、ふだんどおりのことばづかいでよいと思いますか。あなたの意見に近いほうを選んで○をつけてください。

1. あらたまった、きちんとしたことばづかいがよい
2. ふだんどおり、ふつうのことばづかいがよい

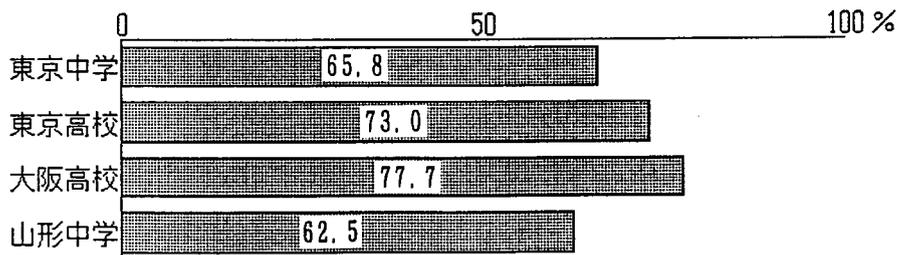


《図15》あらたまった方がよい (全体)

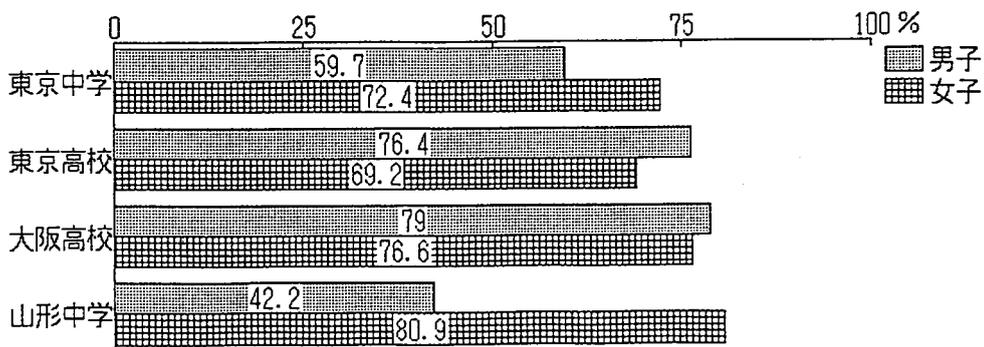
《図16》 同 (性別)

[項目J] 学校のなかでは生徒同士であっても、上級生や部(クラブ)活動の先輩などには敬語(ていねいで、相手をうやまったことば)を使うほうがよいでしょうか、使わなくてもよいでしょうか。

1. 使うほうがよい
2. 使わなくてもよい



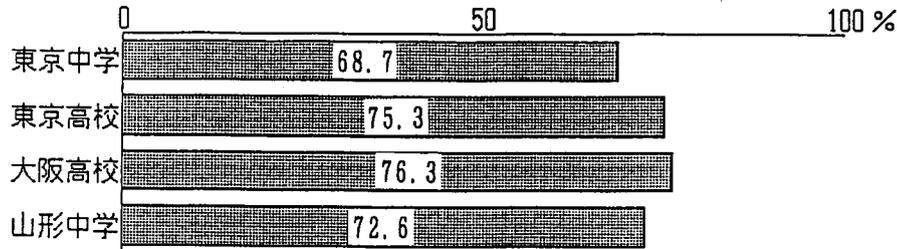
《図17》使う方がよい (全体)



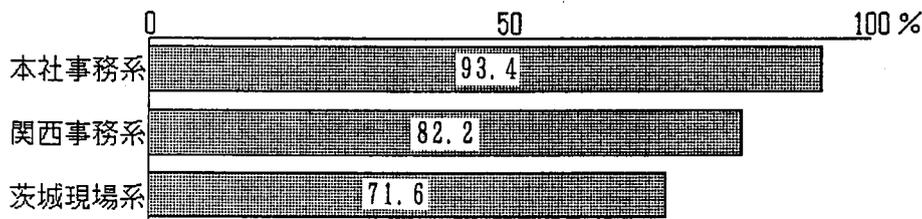
《図18》使う方がよい (性別)

〔項目K〕現在の学校で使われている敬語について、次の二つの意見があります。あなたの意見に近いほうに○をつけてください。

1. 敬語は上下の規律（きりつ）が守れ、授業や部（クラブ）活動などの学校生活をする上で欠かせないものだ。
2. 敬語はかたくるしく面倒（めんどろ）だから、学校生活のためには、かえって邪魔（じゃま）になる。



《図19》 「欠かせないものだ」 (全体)



《図20》 参考：企業社会の大人たちの「欠かせない」という意見 (国語研1982)

## 6. 概観できたことから

- (1) 中高生たちは、言葉遣い全般について、企業社会の大人たちほど気にして暮しているわけではない。〔←図1, 2〕
- (2) しかし、先生・上級生との人間関係の中での言葉の使い分けには留意している。中学生より高校生、男子より女子で留意度が高い。〔←図3, 4, 5〕
- (3) 人間関係のほか、学校での生活場面による言葉遣いも留意され、授業やクラス内場面よりクラブ活動場面や対教師・来客場面が多く留意される。中学生は授業中やクラス討論・生徒会の場面に、高校生より留意する。〔←図8, 9〕
- (4) クラブ活動の先輩という存在は、中学生女子でとりわけ留意される。〔←図11〕クラブ活動での指導者は高校生男子でより留意される。〔←図12〕
- (5) 異性との言葉遣いは、相対的にはあまり留意されていない。この中で、女子より男子で留意する割合が高い。〔←図8, 10〕
- (6) 言葉遣いとして、敬語以外にも、言語行動の種類、方言、アクセント、声の特徴など留意の対象として意識する生徒が少なくない。〔←図5, 13, 14〕
- (7) 場面による使い分けは、全体として半数が支持するが、地域により差がある。総じて女子の方が多く支持する。〔←図15, 16〕先輩への敬語使用は、場面差より支持され、中学より高校、また中学では男子より女子、高校では女子より男子に、それぞれ支持率が高めの傾向がある（大阪高校の男女間には有意差なし）。〔←図17, 18〕
- (8) 学校での敬語の必要性は、過半7割強の生徒に支持されている。企業社会の大人たちの意識に接近しつつあるか。〔←図19, 20〕

以上

〔文献〕 国立国語研究所 1982『企業の中の敬語』 (国立国語研究所報告73 三省堂)  
 杉戸清樹 1984「敬語の基礎知識と指導」 (飛田・小林編「中学校国語科指導法講座12」明治図書)